

21世紀をめざすビジュアルSF世代の雑誌!!

Bi-Monthly Magazine
Uchusen

1987 VOL.39

12

- 007/3Dスペシャル
- 新登場/スーパーウェポン
- ファンタジーニュース
- 3D/ビデオ/レコード情報

特

集

話題の新番組

仮面ライダーBLACK

名作リバイバル キャプテン・ウルトラ

カラー特報 ホラー映画の懲りない面々

死霊のはらわたII
エルム街の悪夢IIIほか



Kenji

定価720円

CONTENTS

ぼくらのSFビジュアル初体験 キャプテンウルトラ	3
(本文)	50
ホラー映画の懲りない面々	16
SPFX HOT NEWS	25
新着フィルム・データバンク	30
F・N・N (井口健二)	36
クローズアップ (富谷 洋)	40
TV SFアンソロジー	44

3D MARKET	58
本文	94
3D ライブラリ (積塚 圭)	64
本文	87
007・3Dスペシャル	66
仮面ライダーBLACK	70
全方位マニュアル	

ラヴ・クラフトの故地を訪ねて (菊地秀行)	78
超兵器マニュアル/鉄人28号	81
恐怖メディアへ招待	84
まんが 気分は愛のウルトラファミリー (MASH)	90
ジョージ&シュリンピの夢ハリウッド	94
まんが お子様ランドスペシャル (米田仁士)	110
ビデオ・レコード新譜情報	100
海外ビデオ・セレクトフュージョン1	106
メッセージフロム リーダーズ	112
ファンジン セレクション スペシャル	116



「火星よりの 第二次侵略計画」



米国防省付士官のファーガソンはこんな時期に出世した自分を呪っていた。

こんな事から逃げられるなら中東あたりの極左テロリストとだって笑って会ってやるのに……

それがよりによって一つ目の火星野郎と和平交渉をしなければならぬ。眼の前で巨大なシリンダーの蓋が回転していた。

シリンダーは約 30 個が世界の主要都市周辺に落下していた。あの強力無比な戦闘機械の記録を検討した米軍首脳部は、その技術導入を計るため早急に手を打ったのであった。

ファーガソンは同行したふたりの士官を見た。ふたりともショーベンをもらしそうな顔をしていた。

戦闘機械がシリンダーの上でホヴァリングしていた。ファーガソンは白旗を掲げた。3人は「ヨウコソ」とか「トモダチ」とかいった単語を叫びながら前進を始めた。……こんな光景を前にも見た事がある…… 誰もがそう思った。

Home Port

□今月の特集の一つ「キャプテンウルトラ」は、今まで特集希望のもっとも多かった作品の一つです。宇宙船名物 70 年代ものを跳びこえて 60 年代ものに一挙さかのぼりました。最新作「仮面ライダーBLACK」とくらべれば、技術的にも、スピード感でも今昔の感にたえません。なお、今月号から表紙のイラストが変わりました。毎回違った趣向で行きたいと思います。

8 年間の長い間、本誌の表紙を担当して下さった開田裕治さん、どうも有難うございました。(M)
◆「宇宙船」、ちょっぴり雰囲気をかえて見ました。いかがでしょう。ご意見お聞かせください。表紙は毎回スタイルをかえて行きたいと思っています。また、本船ブリッジでは地方のファン活動を支援したりレポートしたりするページを計画中。面白いことややってる人、面白いことにまきこまれてい

る人、ドンドンお便りください。(S)

♣この号が出るころ、米はハロウィンで盛り上がっている時期。友人も何人かが渡米する予定。なのに私はお留守番。これもみんな「ウルトラマン大鑑」と「007/リビングデイズ」が悪いのだ!ブツブツ。皆さん買ってくださいませ。(T)

◆放映中の作品は過去の作品と異なり、資料を発掘するのではなく、資料を追いかけるのがほとんど。オマケに「BLACK」はいろいろと動き回っているの、つかまえるのにもひと苦労でした。「やれやれ」(真)

♣ファンタ映画祭に入り浸ってギリギリしていたので入稿が遅れ、総スカンを食いました。でもおかげで「ハーレクイン」などの豪州異能作品を超シネスコで堪能できました。これもひとえに編集長のご慈悲があればこそです。(怪人M)

死霊のEVIL DEAD2 はらわた 2

は クトゥルー神話になった。

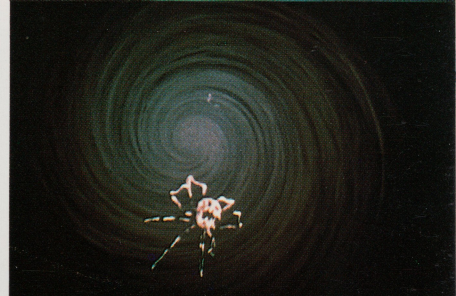
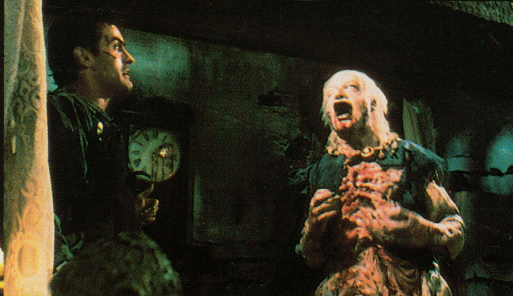
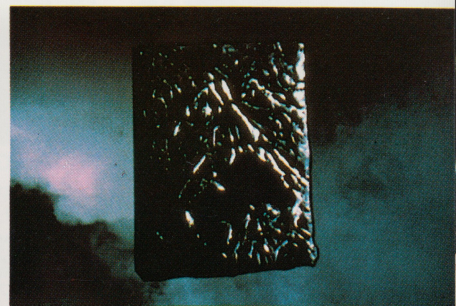
今年の「ファンタスティック映画祭」のオープニング作品として上映され、拍手と大歓声で迎えられた「死霊のはらわた2 EVIL DEAD2」、松竹富士の配給で11月下旬に一般公開が決定した。

すでに3作目の製作も決定し、ますます楽しみなのシリーズ、注目したいのは、前作にも登場した「悪魔の書」ナチュラン・デ・モント。あの死霊を呼びだす呪文が記された書物が、今から4千年前、まだ海が真っ赤な血の色をしていた頃、その海の水を使って書かれたネクロノミコンであるというオープニングナレーションが入るのである。アラブ人ア

ルハザットによって書かれたといわれる死霊秘法「ネクロノミコン」。

成立年代に時間的誤差はあるものの、これによって「EVIL DEAD」シリーズも、あの怪奇小説家ラフクラフトが創造し、数多くの作家に受け継がれていったクトゥルー神話を仕どる一編であることが明らかになったのだ。

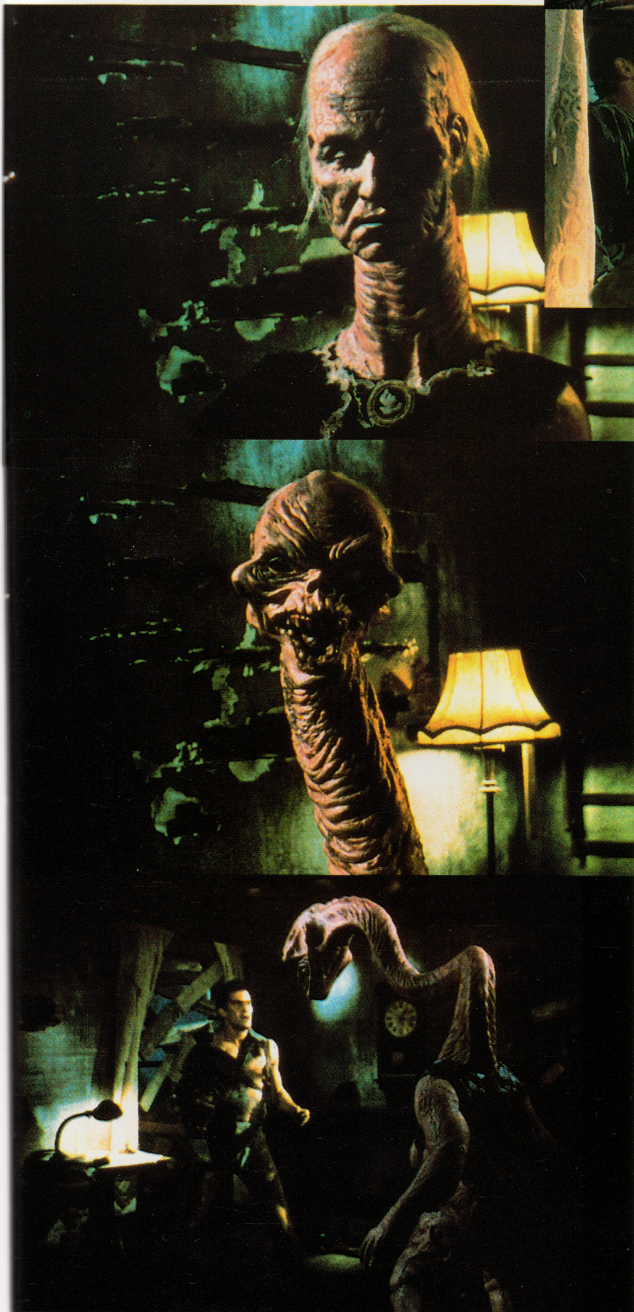
これは第一作目「死霊のはらわた」公開後に来日した、特殊メイクアーティストのトム・サリバンももらしていたが、第一作目のときからクトゥルー神話を意識して作られており、もし第二作目が作られれば、もっとモンスター的な死霊が登場すること



地下室から飛び出したヘンリエッタと主人公アッシュの戦い。

死霊秘法「ネクロノミコン」の秘密が語られるオープニングのシーン。ストップモーションで撮影されている。

ヘンリエッタから怪物へのトランスフォーム。



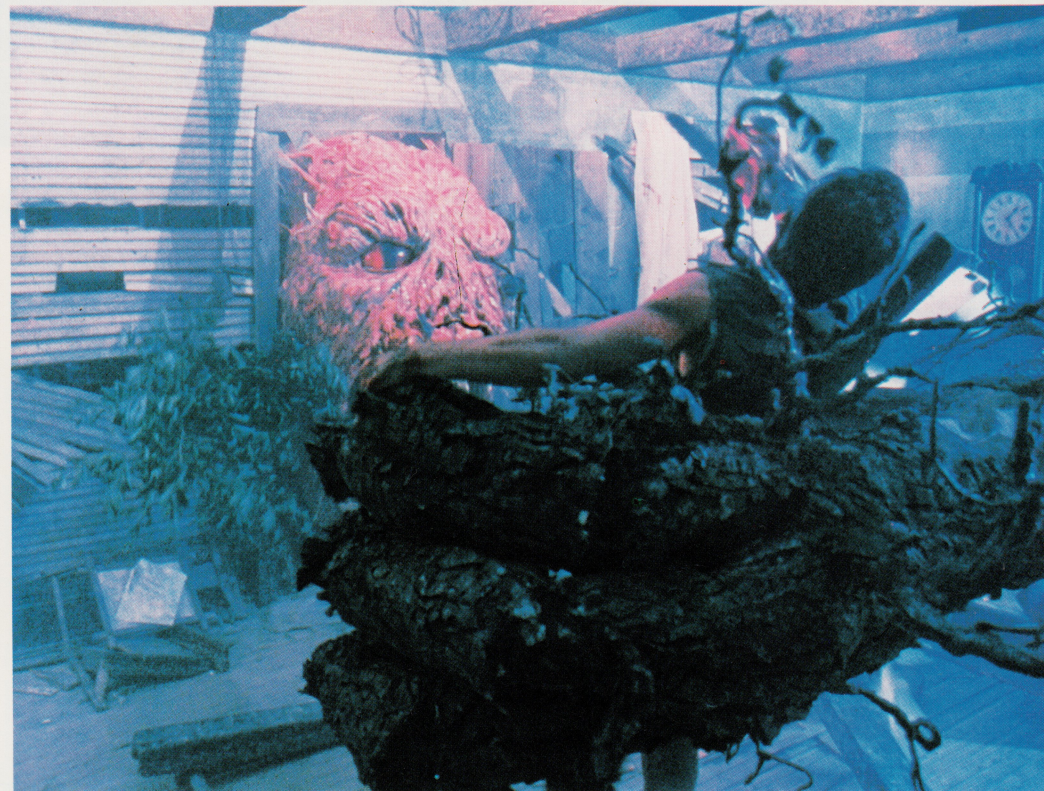
ホラー映画の 懲りない面々



ラストに登場する悪魔▶



踊るリンダのゾンビ(上2点)と巨大な「腐ったリンゴ頭」の怪物(左下)。



になるだろうということだった。
実際「死霊のはらわた」には前作のゾンビ風怪物とは異なるモンスターが数多く登場する。骨と皮だけのリンダのゾンビはどちらかというと前作のイメージを持っているが、クライマックスに主人公と死闘を演じるヘンリエッタがトランスフォームした姿、ドクロのような頭に長く伸びた首、腐ってプロポにふくれあがったボディはまさに化け物。その後、小屋を襲う「腐ったリンゴ頭」の巨大な頭と樹木の腕はもう

怪獣である。そして、過去へタイムスリップしたアッシュの前に出現するのは、翼を持った文字通りの悪魔そのもの……。
はるか昔、遠い宇宙から地球にやってきた旧支配者が、ふたたび甦らんと動き始めた。ラプクラフトがクトゥールの物語を現在から過去、そして宇宙へと拡大させていったように、「EVIL DEAD」もまた単なるスプラッターホラーから、壮大なコスミックホラーへと変貌を遂げていくのだろうか。